

一般質問

出田 泰三 議員
市民の声



市民協働で花いっぱい運動を

Q 静岡県三島市では、歩道沿いに花壇や歩行者の目の高さで楽しめる花飾りを設置し、その手入れは、ボランティアとして募集した市民や各種団体、企業等が行っており、市民協働での花のまちづくりを展開している。理解が得られる市民の皆様と一緒に、できることから始めてみてはどうか。

A 本市では、「坂出市花と緑のまちづくり推進協議会」において、緑化イベント、小学校等卒業生への苗木配布など市民共働で植え替えや維持管理を行うことにより、「花と緑のまちづくり」を進めています。

今後もすでに実施している活動を継続するとともに、他の自治体の事例も参考に、市民共働による花飾りなどを取り入れた美しいまちづくりにについても検討していきたいと考えています。
(建設経済部長)



さらなる移住定住に向けた対策は

Q 綾市政誕生後、転入、転出の差が縮まってきており、地道だが着実に各種人口増加対策を講じてきた努力の結果であると思う。

さらなる移住、定住促進のため、新たな対策についてどう考えているか。また、ホームページでの情報発信やマーケティングリサーチによる移住希望者等のニーズ把握を一層強めるべきでは。

A 本年度は、政策提案プロジェクトチームが、「出生率の向上に向けた大胆な子育て支援策」をテーマに、施策にとどまらず、効果的なPR戦略についても検討を進めており、さらに、新年度からはホームページのリニューアルにより、情報発信の強化を図っていきます。

今後費用対効果等を見極めつつ、引き続き、本市の実情に応じた効果的な事業展開を図っていきます。
(市長)

質問の項目
・ 公共施設等総合管理計画について
・ にぎわいづくりについて

植原 泰 議員
市民と共に



ノーマライゼーションの実現に向けた取り組みは

Q 意識上の障壁を市全体で解決していくことがノーマライゼーション実現の一助となると考えるが、啓発等は実施しているのか。

A 平成28年4月の障害者差別解消法の施行に合わせ、職員対応要領を制定し、職員研修を実施するとともに市民や事業者に対して、広報誌やホームページで周知しているほか、パンフレットを活用して周知啓発に努め、市民相談窓口もふくし課に設けています。

今後市民や事業者に対し、様々な機会を捉えて、障がいや障がい者についての理解促進や啓発に取り組むとともに、障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域の中でも豊かに安心して生活できる共生社会の実現を目指していきたいと考えています。
(健康福祉部長)

非正規職員の賃金に昇給制度の導入を

Q 非正規職員の賃金に昇給制度を設けることで、本人のモチベーションが向上するだけでなく、口伝えにより、本市で働くことの良さがPRされるようになると考えられるが、昇給制度を導入する予定は。

A 本市においては、非正規職員の処遇改善として、平成29年度に臨時職員の賃金改定、非正規職員の休暇制度の新設を行っており、今後も、職務の内容等を勘案し、随時見直していきたいと考えています。

その一環として、昇給については、導入している自治体もあることから、平成32年度から始まる会計年度任用職員制度の導入に向けて、研究及び検討を行い、地方公務員法等に基づき、適切に対応していきたいと考えています。
(総務部長)

質問の項目
・ 公共施設の維持管理について